

6月29日の黙想を受けて(ここをクリックすると伝道者の黙想が開きます)

(コリント人への手紙第二 第5章 17節)

45歳になって2日目に突然に自分を新しく変えてくださった神さまの不思議なわざを想います。新しく生まれた赤ちゃんのように霊的に未熟で、失敗をくりかえしてきた自分、そのような私を少しずつ成長させてくださってきた神さまの愛と力を想います。もう霊的に青年期の17歳になったのだから、大きな失敗をしないように、あせらず急いで成人に成長したい。

7月3日の黙想を受けて(ここをクリックすると伝道者の黙想が開きます)

(使徒の働き 第4章 12節)

新型コロナの治療のために自分の命を危険にさらしておられるお医者さまたちと、お医者さまたちのご両親の心を想います。私の罪の病の治療のために、医者であられるイエスさまが十字架にかかって血を流してくださったことを想います。父なる神さまが愛するひとり子イエスを十字架にかけられたつらさを想います。

7月7日の黙想を受けて(ここをクリックすると伝道者の黙想が開きます)

(詩篇 第23篇 1節)

主は力強い私の牧者。私を愛してくださり、私が迷いでいくと、九十九人から離れて私一人を追いかけて探してくださり、私のために命まで捨ててくださる方。

7月11日の黙想を受けて(ここをクリックすると伝道者の黙想が開きます)

(ヨハネの福音書 第10章 11節)

家で仕事をするが多くなり音楽を聴く機会が増えました。私は中学のころから好きだった欧米のロック音楽の讚美が自分の心に深く響くことに初めて気づきました。コマーシャルが出てしまいましたが、詩篇第23篇とヨハネ 10:11-18 を想いながら <https://www.youtube.com/watch?v=PKooXwwk6bs> をよく聞いています。